

第8回

県芸術祭

第29回

県美術展

期間/11月9日^土→17日^日 10:00~17:00 会場/県郷土文化会館

主催/徳島県教育委員会・徳島新聞社・徳島県芸術祭執行委員会・徳島県美術家協会



商業美術

写真

書道

日本画

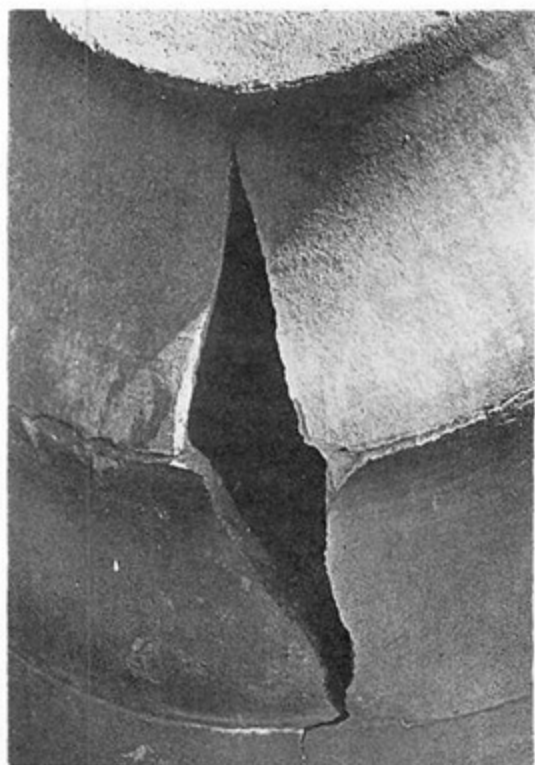
洋画

彫塑

美術工芸

写真

招待
裂
福島正仁



招待 幼なじみ 勝西雅夫

招待
秋
藤井 梵



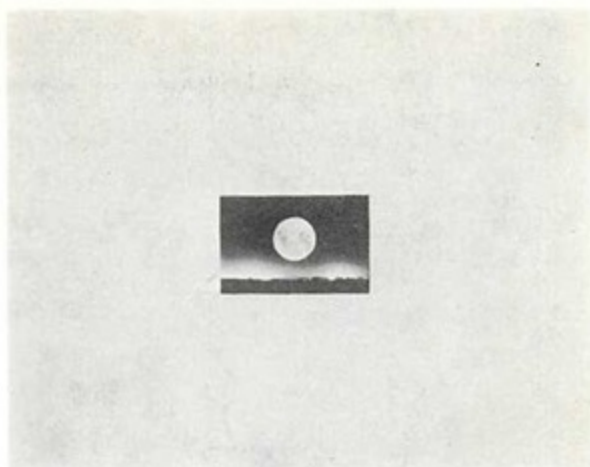
招待 富士 増田清次



招待 艶容女舞衣 西条征二



招待 暁暉 井上光雄



招待 ああ名月 木田英之

特選
メーデーの男
米津光



特選 阿蘇の朝 楠 武



特選 春の海
安長 剛

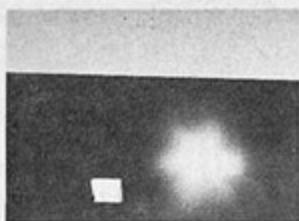


特選 台風跡 三好和義



特選 大谷窯 武内 享

特選
夜の心象
安長 剛

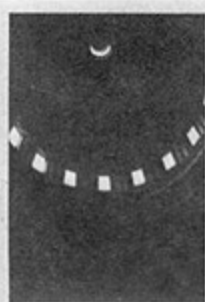
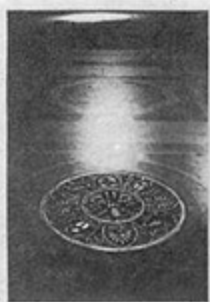


特選 モンテソルパ 山懸尚郎



特選 コンテナのある風景 上野照文

特選
ヴァチカンの印象
納田康雄



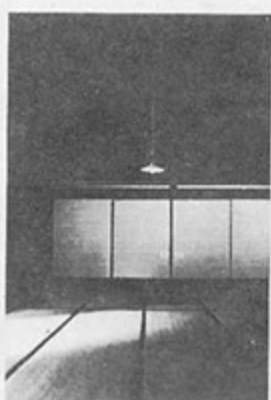
特選
不毛の島
堀渕完治



準特選 壁 林 賢治

準特選 阿波路の春

安長 剛



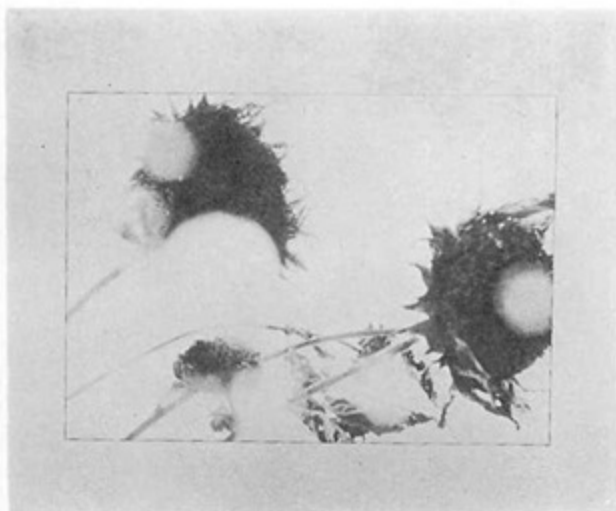
準特選 妻籠の宿 納田康雄



準特選 廃虚 中川憲四郎



準特選 来訪者 笹田敏雄



準特選 終焉 安長 剛

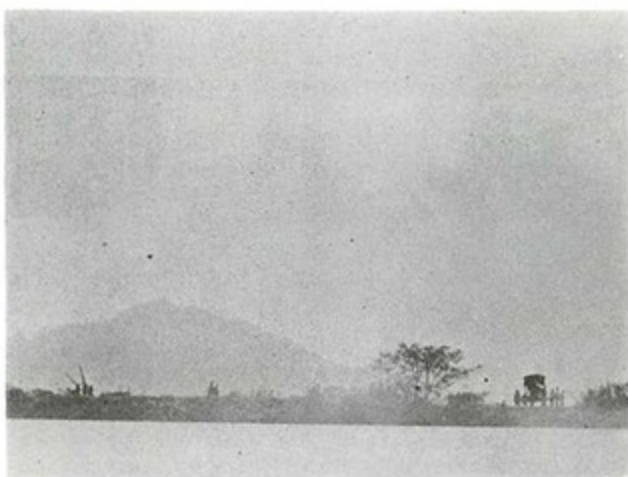
準特選

おんな

木下純一



準特選 青春讃歌 三好和義



準特選 里の祭 宮西 実

準特選
花怨
山瀬 稔



準特選 烏帽子折より
酒井博司

△招 待▽

裂 富 暁 あ 艶 幼 秋
あ 容 女 名 月 嗽 士 福
み 衣 木 井 増 島
・ 勝 西 条 田 上 田 正
藤 井 西 条 征 英 光 清 仁
井 雅 二 之 雄 次 仁
梵 梵

△特 選▽

大 谷 窯 ・ 武 内 亨
メーデーの男 堀 米 津 光
不 毛 の 島 堀 米 津 完
阿 蘇 の 朝 堀 米 津 完
ヴァチカンの印象 納 田 康 雄 武
コンテナのある風景 上 野 照 文
夜の心象 安 長 剛
春の海 山 懸 義
モンテンパ 三 好 和 義
台風 跡 三 好 和 義

△準 特 選▽

妻 籠 の 宿 納 田 康 雄
廃 虚 中 川 憲 四 郎
終 焉 安 長 剛

△入 選▽

阿 波 路 の 春 安 長 剛
壁 の 祭 宮 西 賢 治
里 の 祭 宮 西 賢 治
お 春 讃 歌 三 好 純 一 実
青 春 讃 歌 山 瀬 和 義
花 「鳥帽子折より」 怨 酒 井 敏 司
能 「鳥帽子折より」 怨 酒 井 敏 司
来 訪 者 笛 田 敏 雄

釉 壁 (大谷窯にて) 武 内 亨
窯 焚 (") 武 内 亨

大 谷 焼 堀 米 津 完
あ い 染 め 堀 米 津 完
お 弓 (阿波木偶より) 堀 米 津 完

西 本 願 寺 山 田 和 幸
母 と 子 島 村 泰 邦

今 年 の 竹 子 堀 米 津 完
シ ャ バ の 女 堀 米 津 完

雪 の 道 堀 米 津 完
顔 の 道 堀 米 津 完

猛 毛 の 大 地 堀 米 津 完
不 毛 の 大 地 堀 米 津 完

寂 び 堀 米 津 完
樹 が 来 た 堀 米 津 完

鬼 が 来 た 堀 米 津 完

御嶽の夏	山々の朝	ボンのコツ	この丈六寺	雪の丈六根	北海道にて(A)	雪の物帰	買の物帰	さいはての海	さいはての海	冬のタム	シクラメン	風	砂丘	余呉の湖	清水坂霧情	雪原霧情	熔岩大地	宿場	鳥居島の老舗	伏見稲荷	電話ボックス	おやじとおふくろ	家紋	国旗	白いプレリユート
関口務	堀本芳朗	堀本芳朗	堀本芳朗	堀本芳朗	堀本芳朗	堀本芳朗	堀本芳朗	堀本芳朗	堀本芳朗	堀本芳朗	堀本芳朗	堀本芳朗	堀本芳朗	堀本芳朗	堀本芳朗	堀本芳朗	堀本芳朗	堀本芳朗	堀本芳朗	堀本芳朗	堀本芳朗	堀本芳朗	堀本芳朗	堀本芳朗	堀本芳朗

霊場めぐり	ある造り	冬眉成	街角	ヤン	落陽	早朝の笹流し	一子	子	初秋のの	のタド	マタド	窯	ク	は	路地	病め	母と	霧の	へル	突	交響曲第1番	し	阿波踊り	祇園	余呉の冬	湖北の如月
近松克仁	原田敏雄	堀本信弘	吉田正弘	永井正弘	鈴木秀次	駒坂義博	篠原元	篠原元	篠原元	多喜田弘	多喜田弘	多喜田弘	多喜田弘	安長俊剛	秋月俊剛	秋月俊剛	秋月俊剛	吉田正勝	近藤康之	樋口博美	樋口博美	樋口博美	床波衛	床波衛	関口務	関口務

光	丈	あめりか	蜘蛛	接	能	田	休	残	湖	雲	ボート	ラジ	馳	光	厄	神	落
る	か	でい	の	待	登	能	日	光	上		トレース	オ体	け	の	除		
ふ	こ	寺	季	屋	夕	園						操	る	セ	祈	馬	日
ね	六	内	節	に	映						生		森	レ	願	原	
田	吉	渡	大	西	笹						田		賢	ナ	小	忠	
村	川	辺	野	村	田						秀		一	ー	寺	義	
泰	忠	慎	正	克	敏						男		美	デ	要		
弘	久	五	己	也	雄									成			

〔審査評〕

岩宮 武二

(大阪芸術大学教授)

ことは組み写真の出品がふえているが、イーシーに組んであるの
が目立った。これは残念。審査の途中で何度も説明したことが、た

った一枚、写真が余分にくっついていて、落ちた作品がた
くさんあった。組み写真は説明のために組むのではなく、組まれること
によって新しい価値を創出し得なければならない。しかし全体に去年
より進歩している。去年も審査したので、実感としてわかる。とはい
え、進歩したら進歩したなりに、新しい課題がある。特選になった作
品だとして同じことである。写真というものは、それほどむづかしい。
安長剛さんは非常に力のある人で準特以上を決める審査に七点残っ
た。どれもはずすのは惜しい作品だったが、県展という性格を考慮し
て、三点を除外して、特選二、準特選二とした安長さんの特選作品
「夜の心象」「春の海」のどちらとも、すばらしい作品で、全国どこ
でも通用する。造形的な作品をとれると同時に、シャッターチャンス
でも勝負できる人だ。

米津光「メーデーの男」(特選)は表情からいろんなことがわかっ
てくる。いわゆる語りが多い写真だ。トーン良好。

三好和義「台風跡」(特選)は粗粒子になっていること、ピントが
甘いことが逆に臨場感を生んでいる。地平線の傾斜したことは可。

掘淵完治「不毛の島」(組・特)はオーソドックスにとって、異風
な写真を構成している。これだけの確な表現ができれば立派だ。

楠武「阿蘇の朝」(カラー、単・特)はブルーのトーンがよい。画
面に寒さを感じられる。武内享「大谷窯」(カラー、単・特)はタイ

ミングのよろしさ。また視角の発見もある。山県尚郎「モンテンルパ」
(組・特)は組み写真として成功している。トリミングもよい。

納田康雄「ヴァチカンの印象」(組・特)は、外国へ旅行してこれ
だけのものをとってくる実力に驚いた。主題表現にじゅう滞がない。

上野照文「コンテナのある風景」(特選)は、シャープで神経の行
き届いたところを買った。